



## 薬局紹介 北秋田市民病院 薬剤科

薬剤長 佐藤 博樹

本年4月に秋田県内では初めてとなる公設民営方式による病院となりました。場所は大館能代空港の近くの北欧の森公園に隣接し、病院から視る景観は癒されます。現在、薬剤師は5名、1名が北秋田市在住、他は能代市、大館市から通勤しています。

各業務と設備について紹介します。



### ○調剤室

調剤棚や散薬分包機等がリニューアルされ、散薬監査システムが新たに導入されました。調剤が行いやすい動線となり、業務効率の向上と調剤ミスの防止が同時に実現できる調剤室となりました。



### ○化学療法製剤室

化学療法製剤室では、安全キャビネットにて入院・外来の抗がん薬を調整していて、カートパスボックスから抗がん剤の受け渡しを行っています。この部屋はハザード用途に作られており、室内気圧を外気圧より若干下げ陰圧となっています。



### ○無菌製剤室

無菌製剤室では、クリーンベンチにて院内製剤の調製や高カロリー輸液の調製を行って、パスボックスより物品の受け渡しを行っています。この部屋はバイオクリーンルーム用途に作られており、室内気圧を外気圧より陽圧にして外部からの塵埃の流入を防止しています。

また、化学療法室・無菌製剤室共に超高性能エアフィルタを通じて空気を送り込み排気経路から流出する空気を建物外に排気する給排気するシステムを備えており、HEPAフィルタにて室内環境が保たれています。

### ○受付カウンター

院内処方(外来)の患者さんの服薬指導を行っています。



### ○医薬品情報管理室

新病院での医薬品情報の管理は、紙媒体よりもパソコン上での管理が主になっており、省スペースで迅速な情報提供が出来る体制が整っています。この部屋でD I業務や薬剤管理指導の準備をしています。

